

第2章 就職活動に関する認識と学修時間確保の状況等

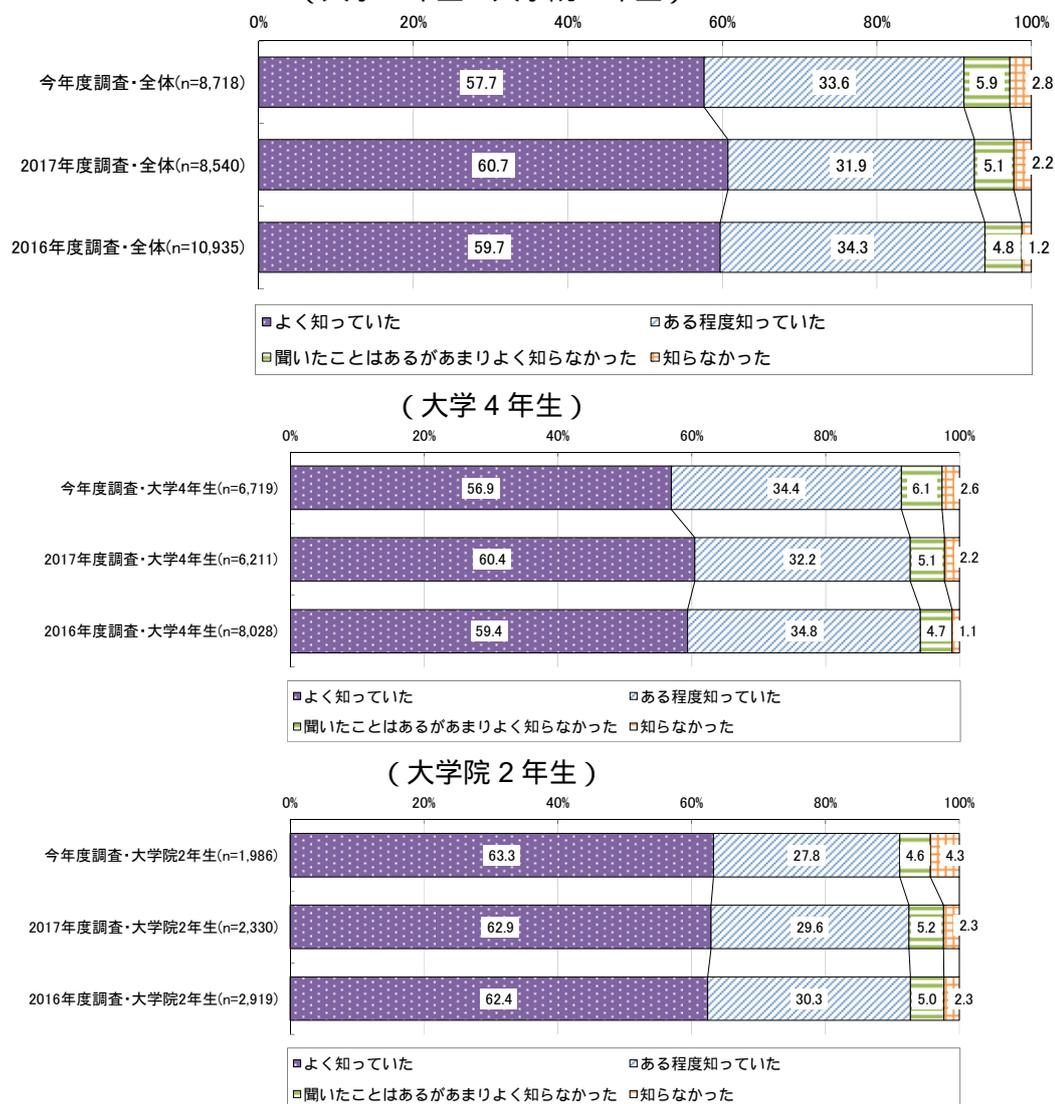
(1) 就職活動時期に関する認知の状況

就職活動時期に関する認知度

就職活動を開始するにあたり、就職・採用活動の時期が昨年度と同様の日程（広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降）で行われることについて、「よく知っていた」の回答は約6割となっており、「ある程度知っていた」の回答との合計は9割以上になっている。

2016年度調査・2017年度調査と比較すると、ほぼ同様の回答結果となっている¹⁰。

図表 2-1-1 就職活動時期に関する認知度
(大学4年生・大学院2年生)



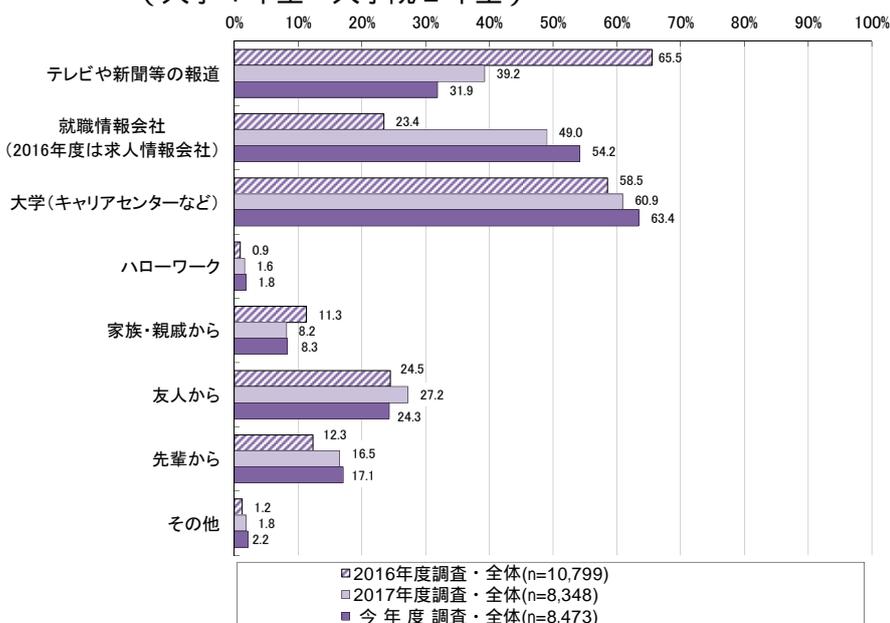
¹⁰ いずれの年度の調査も、「就職活動を行った（終えた）」「就職活動を行っている（継続している）」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者が集計対象で、「就職活動を行わなかった（行う予定はない）」と回答した者は集計の対象外とした。なお、2016年度調査は就職活動時期変更について知っていたかをたずねた設問となっている。2015年度調査でも就職活動時期に関する認知度を把握するための設問はあるが、他の年度とは異なる聞き方となっていることから、ここでは比較の対象としなかった。

就職活動の時期に関する情報源

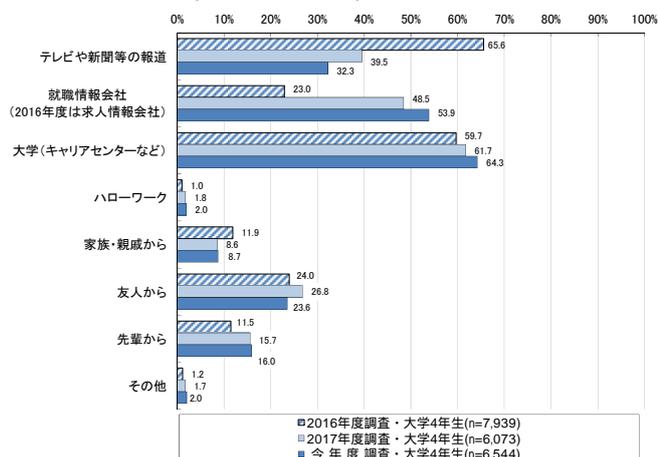
どのようなルートで就職・採用活動の時期に関する情報を知ったかについて¹¹、「大学（キャリアセンターなど）」の回答が6割以上と最も高く、次いで「就職情報会社」の割合が高くなっている。

2016年度調査・2017年度調査と比較すると、「就職情報会社」や「大学（キャリアセンターなど）」の割合が高まっている¹²。

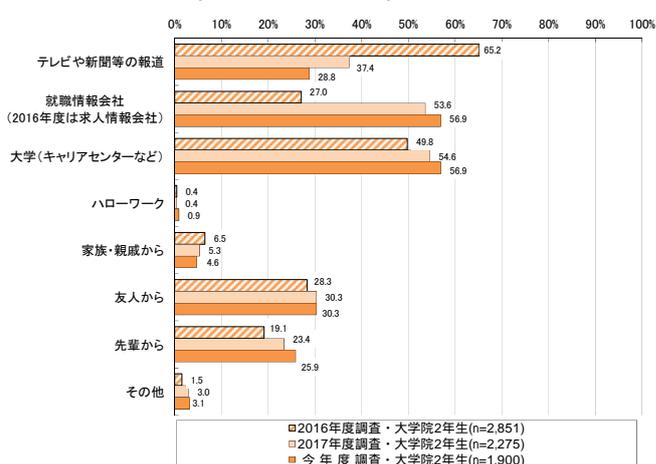
図表 2-1-2 就職活動時期に関する情報源（複数回答）
（大学4年生・大学院2年生）



（大学4年生）



（大学院2年生）



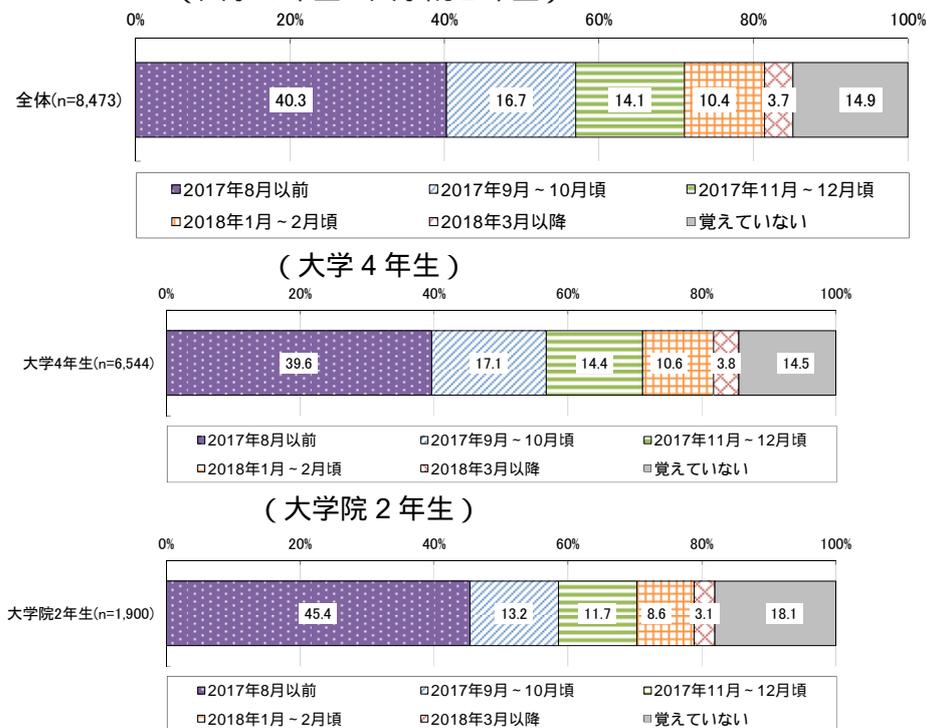
¹¹ 就職・採用活動の時期が昨年度と同様の日程で行われることについて「よく知っていた」「ある程度知っていた」「聞いたことはあるがあまりよく知らなかった」と回答した者が集計の対象で、「知らなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

¹² 2016年度調査は就職活動時期変更に関する情報をどのようなルートで知ったかをたずねた設問となっている。2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

就職活動時期に関する情報を知った時期

いつ頃就職・採用活動の時期に関する情報を知ったかについて¹³、「2017年8月以前」の割合が最も高く、約4割となっている。

図表 2-1-3 就職活動時期に関する情報を知った時期
(大学4年生・大学院2年生)

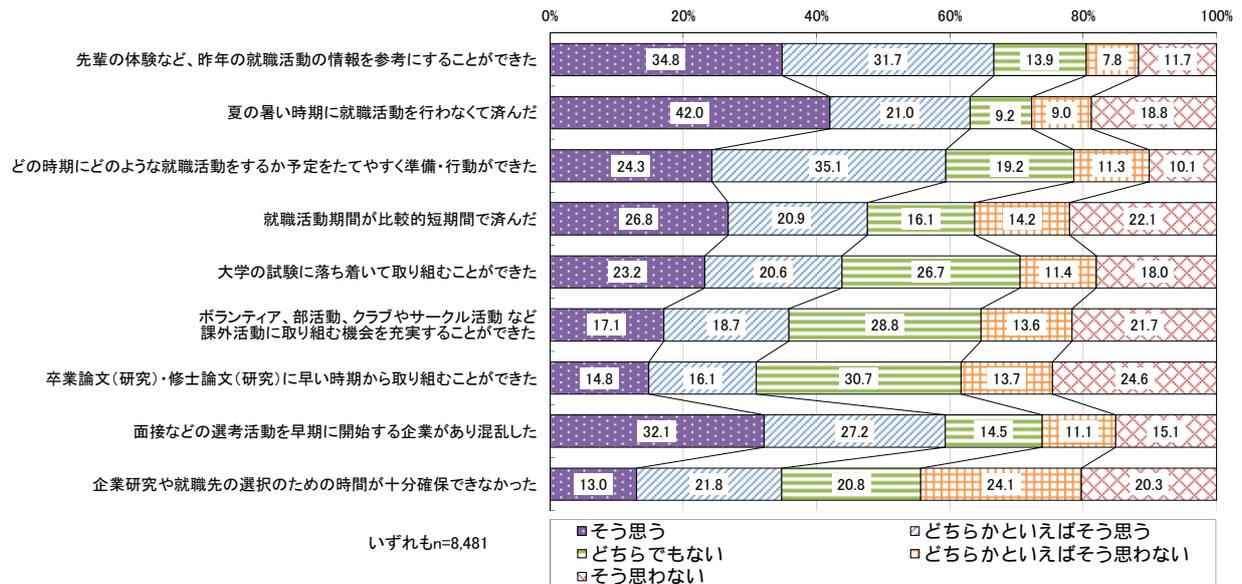


¹³ 就職・採用活動の時期が昨年度と同様の日程で行われることについて「よく知っていた」「ある程度知っていた」「聞いたことはあるがあまりよく知らなかった」と回答した者が集計の対象で、「知らなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

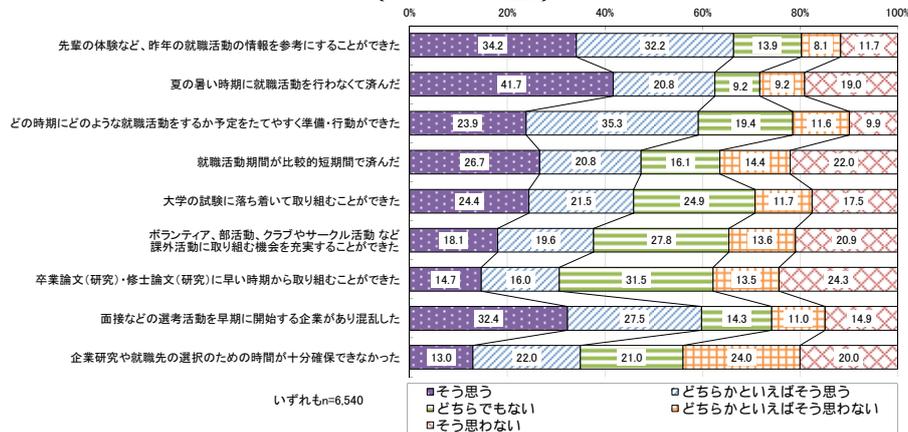
(2) 就職活動時期に関する認識

就職・採用活動の時期が昨年度と同様の時期に設定された（広報活動は本年3月1日以降、採用選考活動は本年6月1日以降に開始）ことについて、「先輩の体験など、昨年の就職活動の情報を参考にすることができた」や「夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」、「どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてやすく準備・行動ができた」という点で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が約6割と比較的高かった一方で、「面接などの選考活動を早期に開始する企業があり混乱した」についても同様に回答割合が高かった。

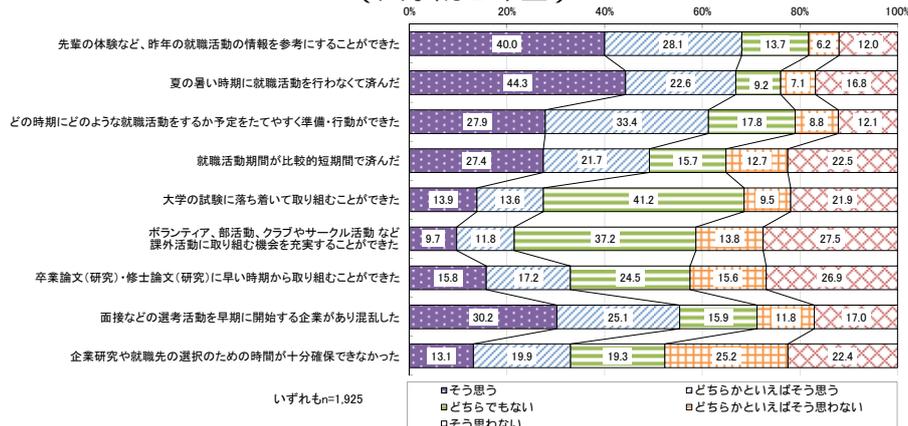
図表 2-2-1 就職活動時期に関する認識
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)

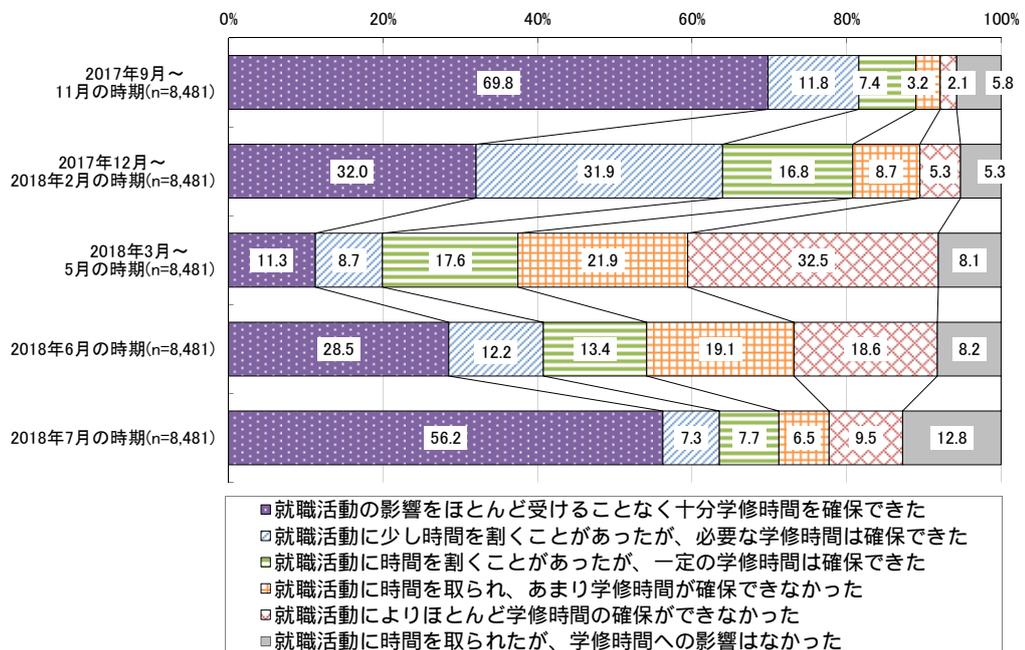


(3) 就職活動と学修時間確保の状況

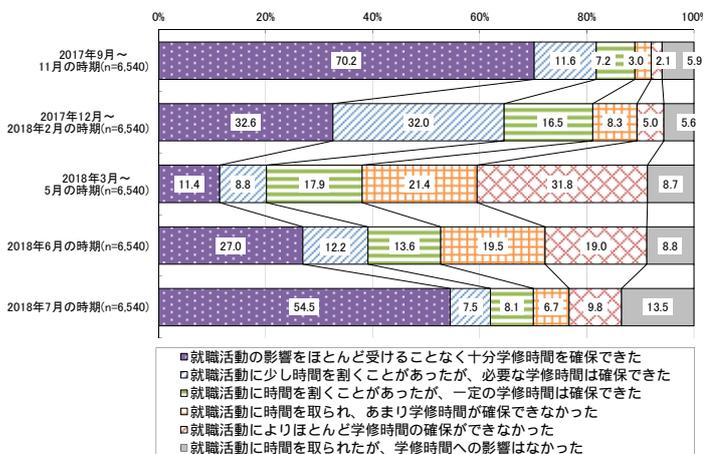
就職活動と学修時間確保の状況について、「十分学修時間を確保できた」、「必要な学修時間は確保できた」、「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合は、広報活動開始時期前の2月までは8割以上と高くなっており、広報活動開始時期後の3月～5月には4割以下まで低下しているものの、採用・選考活動開始時期後の6月は約5割、7月は約7割まで上昇している。

採用・選考活動開始時期が8月とされていた2015年度調査と比較すると、6月・7月に学修時間が確保できたと回答した者の割合が大幅に増加している。2016年度調査・2017年度調査と比較しても、3月以降の時期は今年度調査の方がやや高くなっている。

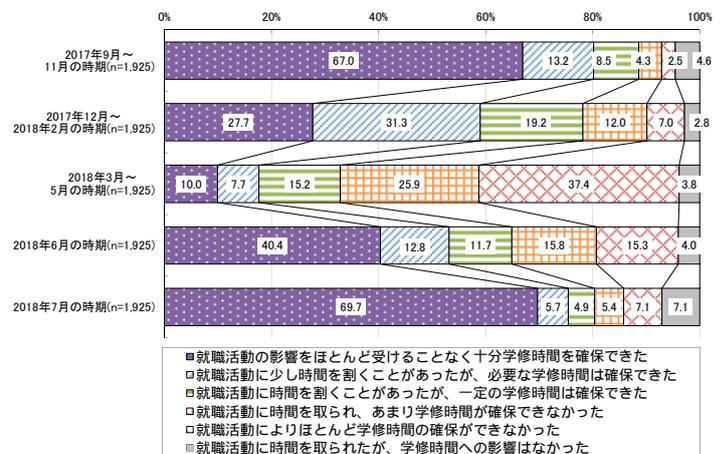
図表 2-3-1 就職活動と学修時間確保の状況
(大学4年生・大学院2年生)



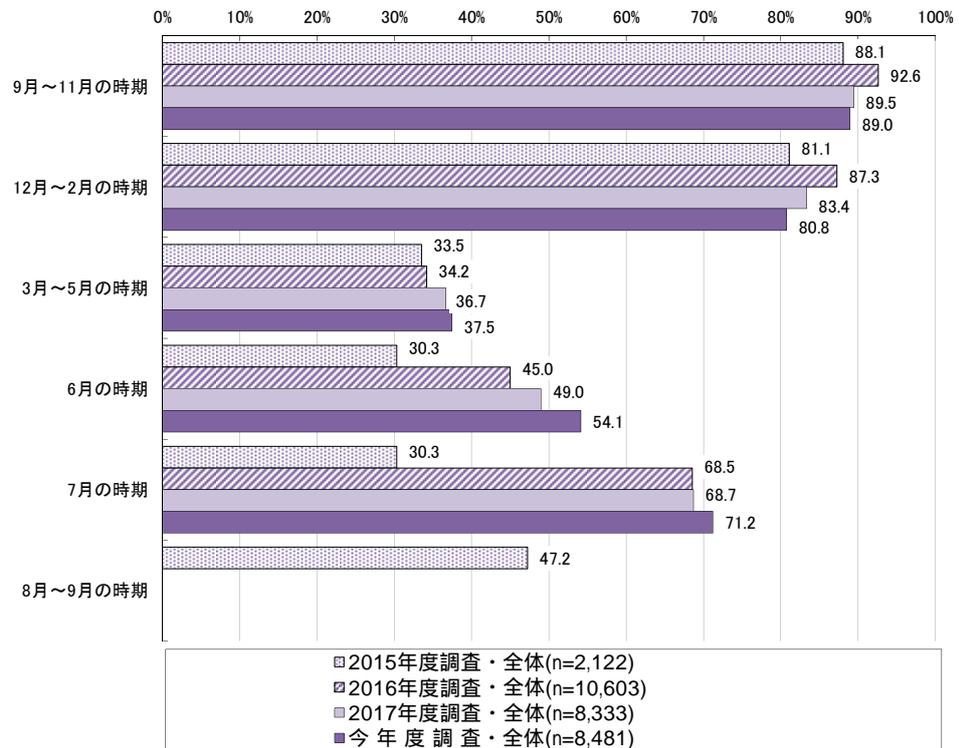
(大学4年生)



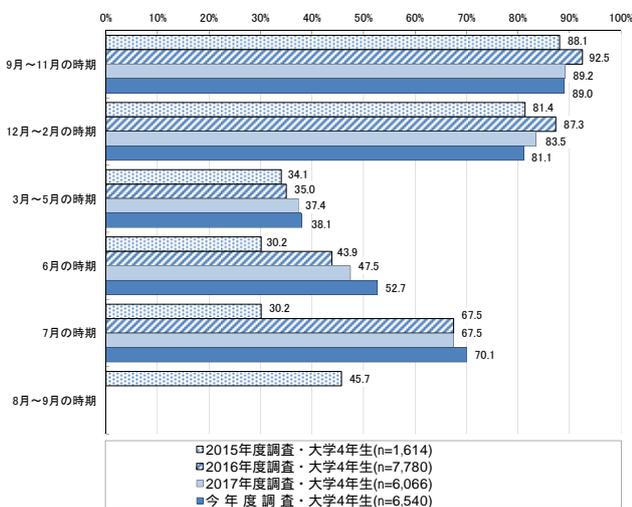
(大学院2年生)



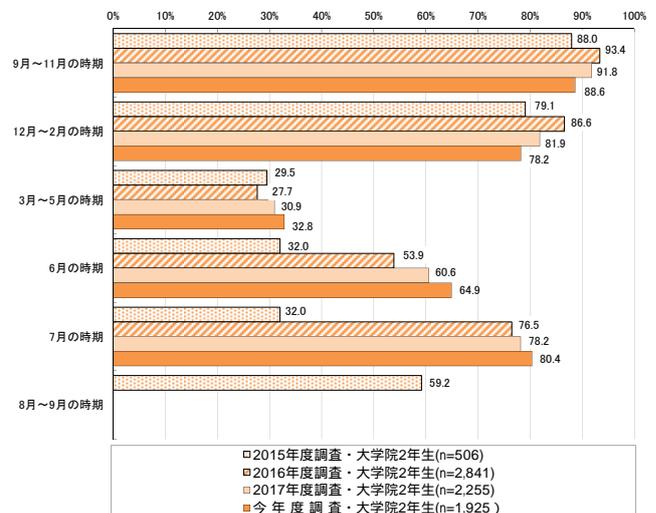
図表 2-3-2 就職活動と学修時間確保の状況（過年度調査との比較）
（大学4年生・大学院2年生）



（大学4年生）



（大学院2年生）



※「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合

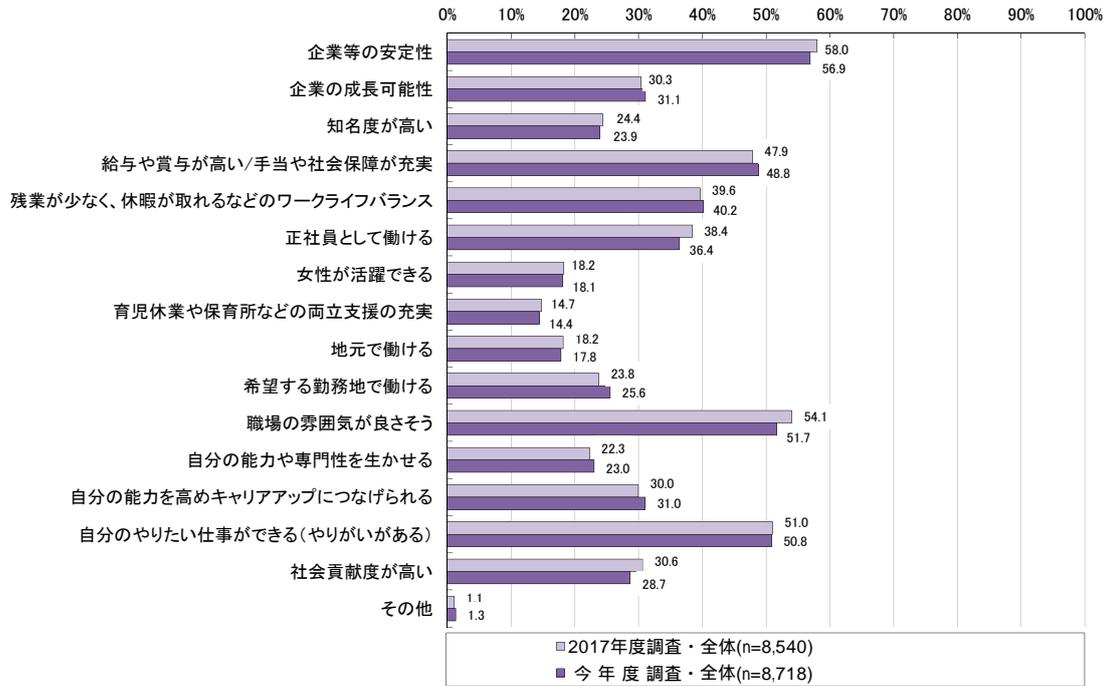
※「6月の時期」「7月の時期」は、2015年度は「6月～7月の時期」として調査を実施（図表にはそれぞれ同じ値を掲載）

(4) 就職先を決めるにあたって重視していること

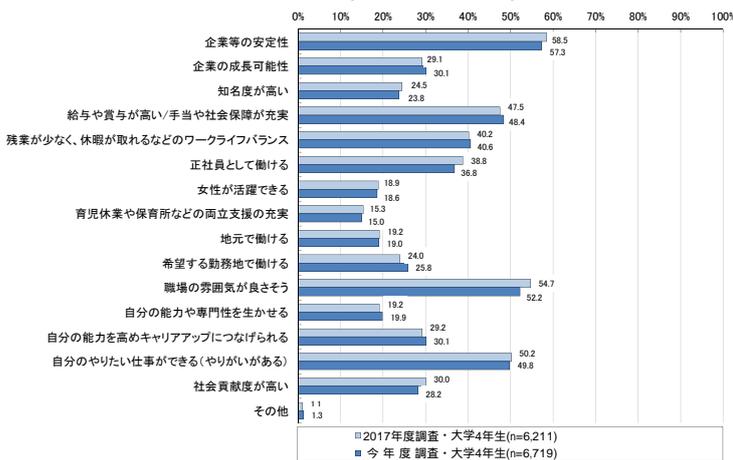
就職先を決めるにあたって重視していることについて¹⁴、「企業等の安定性」の回答が約6割で最も高く、次いで「職場の雰囲気が良さそう」、「自分のやりたい仕事ができる（やりがいがある）」の割合が高くなっている。

2017年度調査と比較すると、ほぼ同様の回答結果となっている¹⁵。

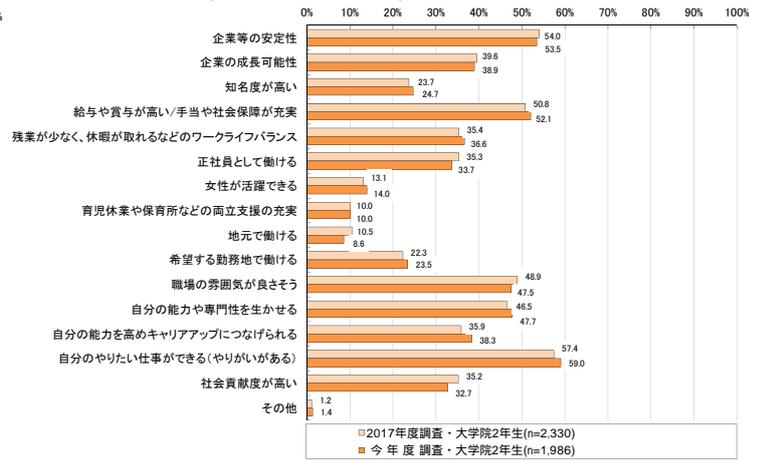
図表 2-4-1 就職先を決めるにあたって重視していること（複数回答）
（大学4年生・大学院2年生）



(大学4年生)



(大学院2年生)



¹⁴ 「就職活動を行った（終えた）」「就職活動を行っている（継続している）」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者が集計対象で、「就職活動を行わなかった（行う予定はない）」と回答した者は集計の対象外とした。

¹⁵ 2015年度調査・2016年度調査では当該設問について調査を実施していない。

